

卓越した教育と研究

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」 ～超高齢・人口減社会における若者の 地元定着の促進と若者の育成～

(実施期間:平成27年度採択～令和元年度)

文部科学省の重点補助事業であり、地域活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」を発展させ、地方公共団体や企業等と協働して、魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材養成に必要なカリキュラム改革を行うことにより、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を図ろうとするものです。県や経済団体など事業協働機関とともに、5年間で「学生の地元就職率10%アップ」を目指します。



秋田ものづくりオープンカレッジ 大学と県内企業による情報交換会

国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学 技術協力プログラム(SATREPS)

持続可能な資源開発実現のための空間環境解析と高度金属回収の融合システム研究

(実施期間:平成26年度採択～令和元年度)

環境汚染に悩まされるセルビア共和国の銅資源開発地域において先進リモートセンシングデータと地表データを組み合わせた3次元な環境評価・解析と高度な金属回収技術を融合し、持続的な資源開発に不可欠な開発と環境との両立を目指した広域環境評価修復システムの研究開発を進めています。



セルビア共和国での調査の様子

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

(実施期間:平成29年度～令和3年度)

平成29年度に文部科学省が新たに募集した「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」に対して、秋田大学は前回の養成プランに引き続き、東京医科歯科大学を主幹校とする養成プランに参加することになりました。本プランでは、この他に慶應義塾大学、国際医療福祉大学、聖マリアンナ医科大学、東京医科大学、東京薬科大学、弘前大学も参加しており、合計8大学が連携することになります。このプランを契機として全国でも最も高齢化率の進行が早く、がん死亡率でもワーストの秋田県のがん医療環境、特に人材養成の観点から一層の改善を目指します。これまでの「がんプロ」事業で標準化、均てん化という目標は達成しました。

しかしながら、がん治療は止まることなく進歩しており、個別化という要素を取り込んだ「がんゲノム」、「プレジジョン・メディスン」の実践が求められております。本プランを県内のがん拠点病院、さらに医療関係の職能団体との連携事業として位置づけ、修了者が県内で主導的に活躍できるように働きかけていきます。

具体的には県内のがん拠点病院に包括的ながん治療を実践できる「腫瘍科」を開設します。また、人口の少ない秋田県だけでは希少がんを経験しづらいが、連携8大学において、レアキャンサーのレジストリーやボードミーティングを設けて集積された治療成績をレファレンスとして使用できるようにするなど枠組みを構築します。

